

# Trinity(三位一体) ~平野中学校地域活動推進だより~ 11月4日

文責 地域連携推進主幹教諭 竹井直也

## 【コミュニティ活動推進委員会】

10月26日(月)の15:30から平野中学校の図書室にて、第2回コミュニティ活動推進委員会が開催されました。会には、7地区それぞれから、区長、PTA地区委員各地区代表者2名、地区担当代表教師、地区代表生徒2名(1・2年生1名ずつ)の6名が参加し、担当者等含め50名程が集まり、活気にあふれる充実した会となりました。

8月下旬と10月上旬に行われた学校運営協議会において区長からの危険個所の確認があり、学識経験者の伊藤教授から、『校区安全マップを学校と地域住民との共有』について提案がありました。今回は、そのことを受けて、地域住民と保護者、生徒と教師の4者で現在の校区安全マップの更新をするための作業を行いました。

### <会次第>

- 1 全体会
  - (1) 開会のことば
  - (2) 副校長あいさつ
  - (3) 地域安全マップ作りについて
- 2 地区別話し合い
  - (1) 地区別自己紹介
  - (2) 区長から
  - (3) 安全マップ作り作業

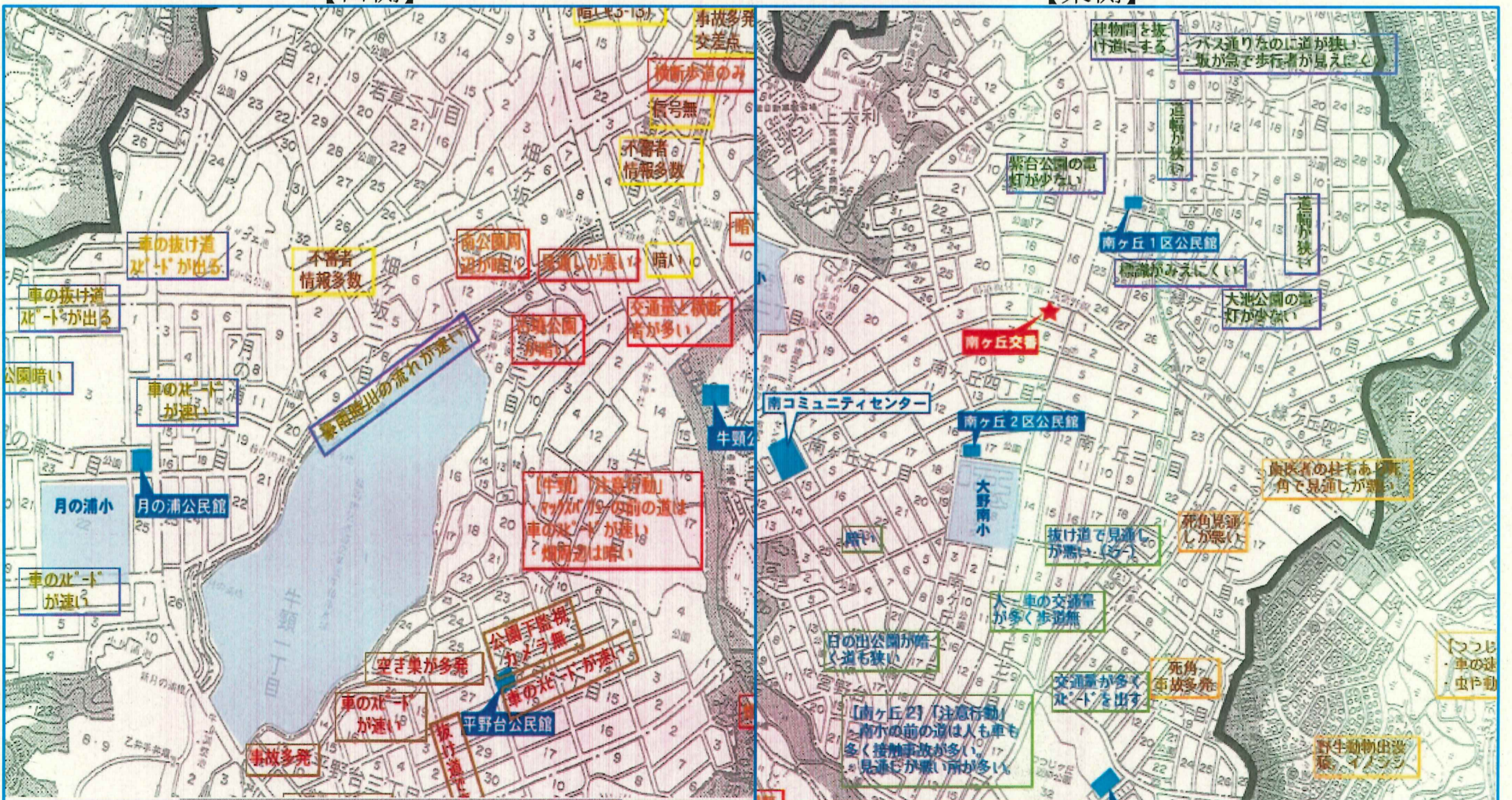


## 【校区安全マップの更新作業】

生徒たちは事前に2~3週間かけて、自分が実際に生活して危険を感じたり、同じ地区の生徒が危険だと判断したりするなどの地域の危険個所について、地図にチェックしながら情報を集めました。実際の話合いになると、区長や生徒の提案する危険個所を含め、様々な危険個所が地図上に書き込まれました。さらに、地域の生徒や小学生の危険な行動、車の交通量や速度についてなど、多岐に渡る話し合いになりました。40分程度の時間を設けて話し合いを実施しましたが、まだまだ足りないという様子で白熱したものとなりました。下の地図は、7地区から出されたものをすべてまとめたもので、掲載の都合上、南コミュニティセンターを中心に東側と西側に分けたものを一部です。今後は、話し合いで出されたものを抜粋しながら校区安全マップ完成をさせていきます。

【西側】

【東側】



## 【地域での安全な行動について】

校区安全マップ更新の話し合いの中で、中学生の地域での行動について7地区共通してあげられる行動がありました。以下にまとめています。登下校中も含めて、自分の行動を振り返って地域の一員として迷惑をかけないこと、そして、安全な行動を心がけることを実践していきましょう。



- 中学生は登下校中に横に並んで歩くのは2列までにして、歩道からはみ出さないようにする。車とスレスレの所がいくつかある。
- 部活動の下校で、暗くなった時は反射板をつけて車から見えるようにする。
- 通学路ではなく、地域住民の敷地内の近道を通して帰らないようにする。
- 公園の周辺など、うす暗いところを通して帰らないようにする。
- できる限り交通量の少ない道を選んで、安全に登下校をする。
- 一人で登下校をすることのないように集団での登下校を心がける。
- 豪雨などの川の水量が多い時に、川をのぞいたり、近くを通ったりしない。



「区長さんや区代表さん、地区委員さんありがとうございました！！」

